

令和3年度指定管理運営業務評価票

施設名称：大阪府立門真スポーツセンター	指定管理者：OGS・関電FA・パティネレジャー 門真SC共同事業体	指定期間：令和2年4月1日～令和12年3月31日	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課
---------------------	-----------------------------------	--------------------------	----------------------

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価		評価委員会の指摘・提言	R3評価	
			S～C	R2評価	S～C		S～C	
I 提案の履行状況に関する項目	(1) 施設の設置目的及び管理運営方針	<p>①施設の設置目的に沿った運営</p> <p>■体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、併せて文化的な集会及び催物の場を提供することを目的に大阪府の競技スポーツ・生涯スポーツの拠点施設として設置された大阪府立門真スポーツセンター（以下「当該施設」という。）の目的に沿った管理運営を実践した。</p> <p>■当該施設の管理運営にあたっては、利用者サービスの向上や経費の削減を図ることはもとより、民間の経営手法や人材・技術力などの活力を最大限に活かした運営を行うことにより、施設を有効利用した事業展開を図るなど、魅力的な施設運営を目指す大阪府の意向に沿った管理運営を実践した。</p> <p>■施設を有効活用するために、自主事業としてスポーツ教室及び文化教室を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ教室 → 講座数：22 ○文化教室 → 講座数：1 <p>■近隣2市と連携したプール利用補助券の販売実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和3年上期（4月～9月）実績 <ul style="list-style-type: none"> ・門真市 利用者数：3,812名（前年差：▲301名） ・大東市 利用者数：1,830名（前年差：▲539名） <p>※コロナの影響もあり、前年からマイナスとなった。</p> <p>■職員の一般知識および専門知識向上のため各種研修を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和3年度：4月13日、7月13日、9月14日：安全研修および緊急対応訓練（5月、6月は緊急事態宣言のため休館） ○令和3年7月13日：水中安全研修 ○令和3年9月14日：消防避難訓練 	A	<p>▶条例の設置目的に従って、「体育・スポーツ及びレクリエーションの新興を図り、併せて文化的な集会及び催物の場」を提供できるよう、適切な管理運営が実施できている。</p> <p>▶メインアリーナにおいては、水泳の全国大会、各種団体の運動会、アイスショーの利用などメインアリーナの形態に応じた利用がなされている</p>	A	A		A
		<p>②提案した管理運営方針に沿った管理</p> <p>■アクティブシニアパートナーへの参加及び、まいど子どもカードの登録</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクティブシニアパートナー利用実績 <ul style="list-style-type: none"> → 令和3年上期（4月～9月）実績：2名 ・まいど子どもカード利用実績 <ul style="list-style-type: none"> → 令和3年上期（4月～9月）実績：3名 <p>■地元中学校からの職場体験受入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ予定で進んでいたが、新型コロナウイルスの影響により、上期は学校側が辞退をされた。 → 令和3年11月には、2名の受け入れを実施済み。 <p>■内部監査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指摘事項：なし ※過去の指摘項目に注意し改善に繋がった。 <p>■プライバシーマークを取得しており、厳しい視点での管理を実施している。</p> <p>■エネルギー管理基準の作成と推進委員会の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同事業体内定例会議にて情報共有を図り、各部署にて省エネ意識の向上に繋がった。 	A	<p>▶施設の特性を活かした自主事業（各種スポーツ教室や文化教室）を実施し、府民のスポーツ振興に貢献している。</p> <p>▶プール補助券は、令和2年10月より門真南駅に広告（PR）しており、近隣住民に対する周知が図られている。</p> <p>▶職員研修をはじめ、水中安全研修、個人情報保護に関する研修、緊急対応訓練などの実施により職員の資質向上が図られている。</p>	A	A		
	(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	<p>①公平なサービス提供、対応状況</p> <p>■誰もが使いやすい施設・ハードの整備や、誰もが参加できる事業、平等に利用できる運用ルールの設定・マンナー向上の啓発を実施。</p> <p>■無料で参加できるプログラムとして、プールでは「ワンポイントレッスン」、トレーニングでは「サービスプログラム」を実施。</p>	A	<p>▶誰でも無料で気軽に参加可能なワンポイントレッスンの実施により、老若男女を問わず水泳の能力向上を図ることが可能である。</p>	A	A		A
		<p>②高齢者、障がい者等に対する配慮</p> <p>■高齢者への利用配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アクティブシニアパートナーへの参加 <ul style="list-style-type: none"> →利用料金の減免対応。 健康運動指導士3名、健康運動実践指導者1名を配置。 ○館内の案内掲示物をリニューアルし、高齢者等が見やすいように変更。 <p>■障がい者への利用配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> →障がい者及び介助者の利用料金、駐車料金の減免対応。 障がい者スポーツ指導員を4名配置。 貸出し用の車椅子を設置。 <ul style="list-style-type: none"> ○令和3年上期（4月～9月）減免対応利用者実績 <ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングルーム <ul style="list-style-type: none"> 利用者数：2,566名（前年比：100.4%） ・プール <ul style="list-style-type: none"> 利用者数：4,644名（前年比：98.1%） 	A	<p>▶府福祉部のアクティブシニアのパートナーの登録施設として、健康運動指導士を複数配置し、高齢者の安全な運動に配慮している。</p> <p>▶貸出し用車椅子の配置や、減免を実施するとともに、「障がい者スポーツ指導員」を4名配置するなど障がい者に対する配慮体制が整備されている。</p> <p>▶施設のバリアフリー情報を館内に掲示し、利用者への配慮に努めている。</p>	A	A		A

I 提案の履行状況に関する項目	評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	R2評価	R3評価	評価委員会の指摘・提言	R3評価
				S~C		S~C	S~C		S~C
I 提案の履行状況に関する項目	(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	① 利用者増を目指したにぎわいづくり方策の取組み	<p>〔参考指標〕 利用者数 令和2年度実績：242,019人 令和3年度目標：454,000人 9月末現在実績：100,804人（前年同月比 110.0%）</p>	/	/	A	/	/	/
		② 年間の広告・広報計画等の情報発信の取組み 〔指標〕 利用者数 令和2年度実績： 人 令和3年度目標： 人 9月末現在実績： 人							
	(4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果	① 提案のあったサービス向上策の取組み	<p>■ Wi-Fi設備、トレーニングマシンを新設し、利用者満足度の向上に努めた。 ■ 有資格者の配置を継続 健康運動指導士3名、健康運動実践指導者1名、障がい者スポーツ指導員4名、体育施設管理士1名、NACA認定CSCS取得者1名、フィットネストレーナー1名、スポーツプログラマー1名、体育施設管理士1名、プール衛生管理者1名</p> <p>■ 自主事業として各種スポーツ教室等を継続実施 ○ 自主事業収入プロポーザル金額 ・ 自主事業教室収入 ■■■千円 ・ プロショップ収入 ■■■千円 ・ マンツーマントレーニング収入 ■■■千円 ・ 大会イベントサポート事業 ■■■千円 ・ スケート靴等、レンタル収入 ■■■千円 ・ 委託指導業務 ■■■千円 ・ イベント収入 ■■■千円 ・ その他自主事業収入 ■■■千円</p> <p>■ スイミング短期教室では、コロナの影響により夏休みの期間変更に合わせて参加しやすい時間帯に変更し、集客に努めた。</p> <p>■ 複合施設として、様々な競技大会、イベント等を同日開催し、施設の有効活用を行った。 ■ プール可動床機能を活用し、アーティスティックスイミング日本代表合宿の受入れを行い、日本代表チームのサポートに努めた。</p>	A	<p>▶ 事業体構成団体が集う業務推進委員会・設備連絡会議等を定期的に開催することで、各社連携をとり、利用者へのサービス向上に繋がられている。 ▶ 各種有資格者を継続的に配置し、それぞれの資格に合わせたサービス等を展開し、利用者の満足度向上に努めている。</p> <p>▶ 自主事業として、スポーツ教室及び文化教室を前年度に引き続き開催し、利用者のニーズに添えている。 ▶ 他施設での実施教室だけでなく、独自性を打ち出した教室を開催することで新規利用者の獲得に期待できる。 ▶ 紹介制度を導入することで、利用者の呼び込み及び定着に取り組んでいる。</p> <p>▶ メインプール、メインアリーナ、メインリンク、サブアリーナ、サブプールは、利用率が高い状況となっている。 ▶ メインプール、サブプールの可動床により、同時に異なる目的での利用が実現されており、多機能施設の特性を十分活用できている。</p>	A	A	A	
		② 自主事業の取組み	③ 施設設備、機能の活用	<p>■ 施設・設備維持管理基本方針に則り、資産の長寿命化と機能維持に努めた。 ■ 国際品質管理基準（ISO9001）に基づく施設管理を実施。</p> <p>■ 設備の日常巡視点検、定期点検により正常な状態を把握し、「施設故障リスト」の作成と活用により、不具合を長期化させずできる限り早くに対処した。 ■ 大阪府への随時報告ならびに定例会議により、大阪府への情報共有も適宜実施した。</p> <p>■ 危機管理マニュアルに基づいた行動を心掛け、危機管理体制を共有している。 ■ 年間通じて、定期的な消防訓練、緊急対応訓練、CPR訓練を確実に実施し緊急時対応の技術を維持している。 ⇒ 館内のAED4台を最新のものに入れ換えた。 ■ 地震・火災・水害等の緊急時は、関係機関と連携しながら利用者・従業員の安全確保を図り、被害拡大を阻止できるようにマニュアルを整備し、訓練を実施している。 ■ Daigasグループの安否確認システムにより、職員の安否確認を実施している。</p>	A	<p>▶ 施設修繕会議を定期的に開催し、施設の現状と問題点や課題等を共有し、効果的な維持管理の方策を立案し、実践することができている。</p> <p>▶ 日頃からのチェック体制を確認し、安全管理に向けた意識向上を図ることができている。また、不具合が発生したときの対処の体制が整備されている。</p> <p>▶ 危機管理体制の整備で、台風等の際には、迅速な緊急対応が可能となっている。 ▶ 緊急事態訓練や消防訓練をはじめ、災害発生時における対応訓練等、安全研修も行っている。</p>	A	A	A
(5) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	① 施設設備の効果的な維持管理	<p>■ ホームページバナー広告及び月間行事案内広告、壁面広告を実施 ・ HPバナー広告 ■ 件■■■千円/月 ・ 月間行事案内広告 ■ 件■■■千円/月（7月より■ 枠） ・ 館内壁面広告 ■ 社■■■千円/月 ※ 上期実績 ■■■千円</p> <p>■ 館内壁面広告： ■ 社■■■千円/月 ■ スケート実施時期に横断幕を設置予定</p>	B	<p>▶ 月間行事案内及びHPバナーへの広告掲載が行われており、収入確保の取組みがなされている。</p> <p>▶ 提案どおりの館内壁面広告は実施しているが、メインアリーナ大型映像広告掲載については実績がない状態であり、収入確保につなげていく必要がある。</p>	B	B	B		
	② 提案どおり実施されているか。								
(6) 収入確保策の実施	① 広告収入等の収入確保策の取組み	<p>■ ホームページバナー広告及び月間行事案内広告、壁面広告を実施 ・ HPバナー広告 ■ 件■■■千円/月 ・ 月間行事案内広告 ■ 件■■■千円/月（7月より■ 枠） ・ 館内壁面広告 ■ 社■■■千円/月 ※ 上期実績 ■■■千円</p> <p>■ 館内壁面広告： ■ 社■■■千円/月 ■ スケート実施時期に横断幕を設置予定</p>	B	<p>▶ 月間行事案内及びHPバナーへの広告掲載が行われており、収入確保の取組みがなされている。</p> <p>▶ 提案どおりの館内壁面広告は実施しているが、メインアリーナ大型映像広告掲載については実績がない状態であり、収入確保につなげていく必要がある。</p>	B	B	B		
		② 提案どおり実施されているか。							

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	R2評価	R3評価	評価委員会の指摘・提言	R3評価	
			S～C		S～C	S～C		S～C	
I 提案の履行状況に関する項目	その他管理に際して必要な事項 (7)府施策との整合	①府、公益事業協力等の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ■「まいど子どもカード」利用料金割引（100円引き）実施。 ■「アクティブシニアパートナー」利用料金割引実施。（トレーニング、プールの利用料が500円） ■アスマイルの啓蒙掲示物の掲示協力。 ■府政学習会への積極的な協力。 ■府各部署からの啓蒙掲示物の掲示協力。 ■大阪府各部署間関係を継続的に掲示協力。 ■大阪マラソン、府催事広告、訓練参加を行っている。 ■門真警察の防犯啓蒙ポスター掲示協力。 ■守口門真市消防組合祖消防本部の防火啓蒙ポスターの掲示協力。 ■C-STEPへの継続加盟。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ▶府福祉部施策の「まいど子どもカード」や「アクティブシニアパートナー」、府民文化部の「大阪マラソン」、政策企画部の「大阪880万人訓練」、教育庁の「子どもの体力づくりサポート事業」、門真警察署や消防組合など各事業に積極的に協力している。また「こども110番の家」の協力施設にもなっている。 	A	A		A
		②行政の福祉化の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ■地域就労支援センター、母子支援センター等、各就労支援事業から雇用活動実施。 ■共同事業体各社 障がい者の実雇用率（令和3年4月1日現在） <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社オージースポーツ：3.66% ・関電ファンリティーズ株式会社：2.04% ・株式会社パティネレジャー：3.95% ■平成30年より、パラリンピックの出場を目指すパラスポーツ競技者1名を当施設で雇用し、様々なサポートを継続中。 		<ul style="list-style-type: none"> ▶C-STEPへの加入や知的障がい者の雇用（清掃現場就業：2名）に取り組んでいる。 ▶加えて、就労支援センターを活用して2名の継続雇用に取り組んでいるが、平成27年4月1日以降の新規雇用者を対象とする就職困難者の雇用については、未達成となっている。 ▶障がい者スポーツに取り組む方の支援を積極的に行っており、従業員の中からアジアパラリンピック代表選手を輩出している。 ▶障がい者の実雇用率は3社すべてにおいて昨年度より上昇している。 				
		③市民・NPOとの協働の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ■なみはやスイムフェスティバルを通じて、市民ボランティアが参画できる予定であったが、コロナの影響で止むを得ず中止となった。 		<ul style="list-style-type: none"> ▶昨年度同様、新型コロナウイルス感染症のために中止となった。 				
		④環境問題への取組み	<ul style="list-style-type: none"> ■井水設備をオージースポーツの費用で設置し、雑用水として使用を開始した。 ■メインプール期間終了後の排水を雨水貯蔵タンクへ移行し、雑用水としてトイレの排水等に使用している。 ■老朽化した照明器具をLED化し、節電効果の高いものに順次変更している。 ■外気温や利用者数に応じて、濾過機、空調などの間欠運転を実施し節電に努めた。 ■空調機制御インバーターを導入し24時間必要に応じた制御ができるように改善した。 ■植栽への散水機の吐出時間及び、駐輪場や街灯を季節に応じてタイマー調整し節電、節水に努めた。 		<ul style="list-style-type: none"> ▶気候・利用状況に応じた対応で、節電・節水に努めている。 ▶トイレの様式化への取組みも良好である。 				
I 総括		6項目（24点満点）	A	6項目（24点満点）	A	A		A	

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価		評価委員会の指摘・提言	R3評価
			S~C	R2評価 S~C	R3評価 S~C		S~C
II さらなるサービスの向上に関する事項	(1)利用者満足度調査等	①利用者満足度調査等の実施状況 ②調査結果のフィードバック（PDCA）	■利用希望調査表とともに、各利用団体に送付を行った。 （令和2年度実績 回収率17.6%、配布511通、回収90通） ■アンケート結果を集計後、従業員全員で共有して各エリアの運営に反映した。アンケート以外で寄せられたご意見、ご要望についても同様に共有し、緊急性や影響度を考慮して優先順位つけて対処を行った。	A	>専用利用団体及び個人利用者に対して毎年アンケートを実施。利用者満足度も上昇している。 >利用者からの意見・要望を集計し、改善に生かしている。要望についても適宜対応しており、利用者満足度調査の「不満」「大変不満」の割合が減少している。		A
	(2)自主事業	①さらなるサービス向上の取組み 〔指標1〕自主事業参加者数 R2実績： 人、上半期実績： 人 R3目標： 人、上半期実績： 人 〔指標2〕自主事業収入状況 R2実績： 千円、上半期実績： 千円 R3目標： 千円、上半期実績： 千円	〔参考指標1〕自主事業参加者数 R2実績：2,934人、上半期実績：1,885人 R3目標：4,678人、上半期実績：1,645人（前年同月比 87.3%） 〔参考指標2〕自主事業収入状況 R2実績：■■■■千円、上半期実績：■■■■千円 R3目標：■■■■千円、上半期実績：■■■■千円（前年同月比■■■%）				A
	(3)その他創意工夫	①その他創意工夫の取組み	■コロナ感染拡大防止に注力し、定期的な館内の消毒および換気を行った。 ■利用団体にも手指消毒および備品消毒セットを受付時に貸与し、感染防止に向けた協力と意識付けを行った。 ■プールフロアの目地入れを実施しユスリカ発生の抑制に努めた ■スピーディな受付ができるよう、事務室内のレイアウトを変更した。 ■お客さま向けの案内ボードを設置し、周知に努めた。	A	>体験教室など新規利用者の獲得に積極的に取り組んでいる。		A
	II 総括		2項目（8点満点）	A	2項目（8点満点）	A	A
III 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	(1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度	①事業収支計画、事業収支実績状況 〔指標〕R3収支計算書（プロポーザル） 収入： 千円、見込み： 千円 支出： 千円、見込み： 千円 納付金： 千円、見込み： 千円	〔参考指標〕R3収支計算書 収入：■■■■千円、見込み：■■■■千円 支出：■■■■千円、見込み：■■■■千円 納付金：-千円、見込み：同左				B
	(2)安定的な運営が可能となる人的能力	①職員体制・配置 ②管理監督体制・責任体制 ③指導育成、研修体制	■各部署に人員配置を行い管理運営を行った。 ◇管理運営業務 常勤●名、非常勤●名 ※管理運営業務内容（事務室、トレーニングジム、プール、総合案内） ◇施設総合管理業務 ・設備管理業務 常勤●名、警備保安業務 常勤●名 ・清掃業務 常勤●名（非常勤●名） ■総括責任及び管理運営業務（スケート管理運営業務除く） → 株式会社オージースポーツ ■維持管理業務（警備保安業務及び清掃業務を含む） → 関電ファシリティーズ株式会社 ■スケート管理運営業務 → 株式会社パティネレジャー ■休館日を活用して安全訓練を中心に研修を実施し、スキルアップを図った。また、運営会議、訓練を通じて、運営上の課題を検討して、都度の改善に取り組んだ。 ■夏場のプール繁忙期前にプール安全研修（遊泳者の異変の第一発見者になるための訓練や溺者への対処法など）を行った。	A	>適切な人員配置により、円滑な管理運営体制となっている。 >管理監督体制及び責任体制が明確にされている。 >共同事業体として各々の事業者が明確な役割分担を行い、管理運営を行うことができている。 >従業員の指導育成のための研修が実施されている。		A
	(3)安定的な運営が可能となる財政的基盤	①法人等事業者の経営規模、事業規模、組織規模等の運営基盤 ②法人等事業者の財務状況	■株式会社オージースポーツ経営概要 売上高 ■■■■百万円（令和2年度） ◇直営フィットネスクラブ（コス・ス・パ） 24店舗、24時間営業フィットネスクラブ（FITBASE24） 17店舗、高地トレーニングスタジオ 30peak 3店舗、直営スイミング・カルチャースクール（SENritoよみうり） 1店舗、直営テニスクラブ（コス・ス・パ） 7店舗、直営サッカースクール（コス・ス・パ） 1施設、指定管理・運営受託施設 11施設 ■関電ファシリティーズ株式会社経営概要 売上高 ■■■■百万円（令和2年度） ◇施設維持の様々な要素を総合的に管理することで効率的な施設管理を全国規模で行う。 ■株式会社パティネレジャー経営概要 売上高 ■■■■百万円（令和元年10月～令和2年9月） ◇全国的にスケートリンクの設計、設営、運営管理を行う。 ■事業体各社前期の財務指標、損益実績を明示 代表企業OGS（令和2年実績） ・売上高：■■■■百万円、経常利益：■■■■百万円 ※■■■■影響により■■■■となった。 ■財務基盤の自己評価（令和2年度実績） ・総資：■■■■百万円	A	>構成企業を含め運営基盤は、概ね安定していると認められる。 >構成企業を含め財政基盤は、概ね健全であると認められる。		A
	III 総括		2項目（8点満点）	A	2項目（8点満点）	A	A
年度評価							A